

## ホロライブ バレンタインボイス2025 ～秘密の告白～ オーロ・クロニー

んん！ 美味しい……！

さすがは一流のレストランね。  
こんなに美味しい料理、久しぶりに食べたわ。  
ひと口食べただけで、来てよかったって思えるくらい。ふふふ。

これもキミが予約してくれたおかげね。  
ありがとう。でも、大丈夫？  
こんな良いお店なんだもの。高かったんじゃない？

……そう？ ふふ、キミがそう言うならいいけど。  
せっかくのバレンタインデーだものね。  
張り切ってお祝いしたいって気持ちは、私もわかるわ。

まあ、それにしても……  
ちょっと手が込みすぎじゃない？

だって、用意してくれたの、お店だけじゃないでしょう？  
お店に入っただけで、綺麗なお花もくれたし。  
とっても素敵なプレゼントも渡してくれたじゃない。

それに。今日は朝から、ずっとそわそわしてる気がするの。  
もしかして……何かサプライズを企んでるんじゃない？

……あはは。その反応、わかりやすいわね。  
そんなに慌てなくてもいいわよ。  
実は、私も……って、これはまだ秘密だったわね。うふふ。

わっ。どうしたの？ いきなり立ち上がって……  
な、なに？ 急に目の前でひざまずくなんて。  
こんなの、まるで……

わ……！ ちょっと待って！  
まだ、こ、心の準備が……

ふう……  
ああ、ごめんね！ 違うの。  
今のは断ったわけじゃないのよ？

キミが今、私に何を言おうとしてたのか……  
申し訳ないけど、わかつちゃったの。

ふふ。当ててあげようか？  
答えは……『告白』でしょう？  
『恋人になってほしい』って、そう言うつもりだったんじゃない？

……やっぱり。大正解ね♪  
実はなんとなく察してたのよ。

高級なレストランを予約したり、  
豪華なプレゼントを用意したりしてくれたのはどうしてだろうって。

キミをからかいたいんじゃないの、本当よ？  
告白だって.....喜んで受けさせてもらいたいわ。

ふふ。どうして私が、こんなに上機嫌なのかわかる？  
それは.....私もキミに、秘密を隠してたからなの。

実はね。私は元々、キミを恋人だと思ってたの。  
近いうちに、家族にも紹介するつもりだったのよ？  
『この人が私の恋人』ってね。

びっくりした？ そうよね、サプライズのつもりだったもの。  
私たちの仲なら、きっと受け入れてくれるだろうってね。

つまり、私もキミも、同じ気持ちだったわけ。  
こんなに嬉しいことはないわ。

というわけで.....  
今度のお休み、家族に会いに行く予定なの。  
良ければキミも、空けておいてくれる？

うふふ.....ハッピーバレンタイン.....？

※一部またはすべての音声とテキストファイルの無断複写・無断複製・無断転載を固く禁じます  
※タレントのアドリブにより、台本と実際の音声異なる場合がありますこと予めご了承ください。  
© 2016 COVER Corp. NOT FOR SALE